

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

平成13年9月25日 第25報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wessenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa</i> *	1		
(藍) <i>Oscillatoria sp.</i> *	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	73		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	50		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	160		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	60		
(緑) <i>Carteria peterhofiensis</i>	10		
(緑) <i>Oocystis parva</i>	40		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	700		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	100		
(緑) その他の緑藻	350		
(藍) 藍藻綱	52	3.2	9.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	0.6	0.2
(珪) 珪藻綱	103	6.3	2.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	50	3.1	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	9.8	6.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1260	77.1	80.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1635	総体積	3.95E+06
種類数	17	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

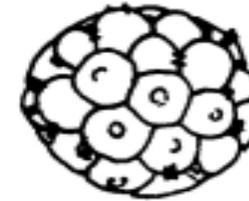
## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta stylata</i>	100

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Conochilus unicornis</i>	40

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



***Coelastrum cambricum***  
(ケラスツルム)  
緑藻綱

シノピウムは球形であり、たいてい32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

### 動物プランクトン第1優占種



***Synchaeta stylata***  
(ドロワムシ)  
輪虫類

体は短い円筒状で、後方へゆるやかに細くなり、細長い肢になり、先に小さな趾がある。頭に4本の突起がある。

コメント:

植物プランクトンは緑藻のケウスツルムが最も多かったが、この種は、先週(9/17)から見られ始め増加傾向にある。本種も含め緑藻が全体的にも主体となりつつあるが、ひとつの特徴として極微小なため即時に分類できないことから便宜上「その他の緑藻」に区別している「球形の緑藻」が多く見られた。